

処分場の安全性について

1) 処分場の安全性について

他県の類似 16 施設（公共関与で稼働中又は建設中）を調査したところ、

受け入れ廃棄物の安全性

- ・ 本県では、焼却灰は溶融固化したものに限り、ばいじんは受け入れないという安全性への特段の配慮をしている。
- ・ 他県では、焼却灰は全 16 施設、ばいじんは埼玉県を除く 15 施設で受け入れている。

遮水構造の安全性

- ・ 本県では、3重の遮水構造、漏水検知システム、12地点での水質調査を実施することとしている。
- ・ 他県では、茨城県 1 施設のみが本県と同等であるが、他の 15 施設は本県のレベルを下回る。

放流水の水質基準

- ・ 本県では、ほぼ全ての項目が国の基準の 1 / 10 程度と厳しい基準を設定している。
- ・ 他県では、埼玉県の 1 施設が本県と同等である。また、京都府などで部分的に本県の基準を上回る項目もあるが、総合的には本県の基準が最も厳しい。

という結果となっている。